



ALSOプロバイダーコース

～ 名古屋市立大学 ～

Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を発展・維持するための教育コースである。1991年にACLSとATLSに基づいて、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案した。1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP-米国家家庭医学会) によって認可され、現在全米では多くの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOの受講を義務づけられている。またALSOコースは世界的に普及活動が行われており、現在までに、63カ国、16万人以上がALSOコースを完了した。

プロバイダーコースは二日間で行われる。コースの内容は、レクチャー、症例検討、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップである。筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースに含まれている。ALSOは分娩室における産科の救急的対処や医療安全を強調している。必須学習内容はマタニティケアにおける安全性、難産、妊娠初期の合併症、妊娠の内科的合併症、早産と前期破水、妊娠後期の性器出血と、症例検討を含む分娩中の胎児監視、妊娠の内科的合併症、そして(以下少人数グループによる実技トレーニングを含む)肩甲難産、補助経膈分娩、骨盤位分娩、分娩後大出血、妊婦の心肺停止である。またコースによっては、オプション・ワークショップとして会陰縫合、超音波検査、出産危機への対処などが追加される。**プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合受講者はAAFPの認定する5年間有効の認証を受けることができる。**また、プロバイダーコースの講師になることを希望する場合、一日間のインストラクターコースを受講しなければならない。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、全国38の都道府県でコースが開催され、コース修了者は9,000名を超えた(2018年12月31日時点)。参加者は産婦人科医、助産師だけでなく、プライマリケア医、救急医、麻酔科医、小児科医や他科医師、研修医、そして医学生などであり、現在あるいは近未来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加している。産科救急医療は、産婦人科医だけで維持し続けることが難しい状況になりつつあることは周知の事実である。日本全国のすべての地域で産科医療を維持するには、**産科医療に関わりたいという志を持った人たちが**教育を受けられる場所を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要がある。まさにその足がかりとなるトレーニングコースがALSOである。

ALSO-Japan事業執行部

ALSO プロバイダーコース in 名古屋市立大学

主 催：名古屋市立大学、NPO法人 周生期医療支援機構（OPPIC）

場 所：名古屋市立大学 シミュレーションセンター（名古屋市瑞穂区）

日 時：2019年9月15日（日）、9月16日（月・祝）

定 員：30名

参加費：37,000円 ※支払方法は受講可否とあわせて通知します。

※ 同施設内のグループ参加（特に医師・助産師のペア）を優先します。

申込方法：下記URL（Googleフォーム）よりお申込みください。

なお、記入事項不備の場合は申込を受理できません。

お申込みから1週間以内に、確認メールをお送りします。

確認メールが届かない場合は、お手数ですがお問い合わせください。

申込みフォーム：<https://forms.gle/rU5eV1rdVS2kbE8ZA>

※下記期間で追加公募を行います。先着順ではありません。

募集期間：2019年6月27日（木）～ 2019年7月8日（月）17:00

※ ランチョンセミナー開催のため、昼食時に外出ができません。

受講者全員にお弁当をご用意いたします。

ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせくださいませ。

【問い合わせ先】

特定非営利活動法人 周生期医療支援機構 ALSO-Japan事務局

E-mail：jimu@also-japan.com または shuseiki3@gmail.com

【ご宿泊について】

ご宿泊先は各自にてご手配ください。本コースは連休中の開催となります。ホテルが取りづらくなることも予想されますので、お早めに宿泊先を確保されることをおすすめします。会場までのアクセス等については各自ご確認くださいませようお願いいたします。

2019 ALSOプロバイダーコース in 名古屋市立大学 コーススケジュール

| 2019 ALSO-JAPAN PROVIDER COURSE DAY 1 |
|---|
| 9月15日(日) |
| 9:00 AM - 9:30 AM 受付 |
| 9:30 - 9:50 AM オープニング&プレテスト |
| 9:50 AM - 10:50 AM (60分) L: Safety in Maternity Care 妊婦ケアにおける安全性(全体) |
| 11:00 AM - 0:00 PM (60分) G: Malpresentations/Malposition プレゼンテーション異常・ポジション異常(レクチャー全体、実技グループ) |
| 0:00 AM - 1:00 PM (60分) ランチョン講義: 妊娠初期の合併症 0:20よりスタート |
| 1:00 PM - 3:00 PM (2時間) E: Intrapartum Fetal Surveillance 分娩時胎児監視 |
| 3:10 PM - 3:40 PM (30分) F: Labor Dystocia 難産(全体) |
| 3:50 PM - 5:00 PM (1時間10分) H: Assisted Vaginal Delivery 補助経膣分娩 |
| 5:10 PM - 6:10 PM (1時間) I: Shoulder Dystocia 肩甲難産 |
| 6:20 PM - 7:00 PM (40分) K: Maternal Resuscitation 妊婦の蘇生 |
| 2019 ALSO-JAPAN PROVIDER COURSE DAY2 |
| 9月16日(月) |
| 試験復習: 午前8時00分～ |
| ALSO体操第一(8:30～) |
| 8:40 AM - 9:10 AM (30分) D: 早産と前期破水 |
| 9:20 AM - 11:20 AM (2時間00分) J: Post Partum Hemorrhage 分娩時異常出血 |
| 11:20 AM - 0:15 PM (55分) ランチョン講義: C: 妊娠後期の性器出血 11:35 - 0:05PM |
| 0:15 PM - 2:00 PM (1時間45分) B: Medical Complications & OB Cases 内科的合併症と症例(全体) |
| 試験準備、写真撮影 |
| 2:20 PM - 4:30 PM (最長5:00 PM) Megadelivery & Written Examination 実技試験, 筆記試験 |